

岐阜県の森林・林業

# 森もり林のたより

8月は「ぎふの山に親しむ月間」  
今年の夏も「山の日フェスタ」で盛り上がりよう!

No.767  
2017 August

8

FREE

ご自由に お持ちください。



●「山の日フェスタ2016」&「ぎふ木育キャラバン」の様子  
今年の夏は、「東京おもちゃ美術館」の木のおもちゃが岐阜に大集合!

編集・発行 公益社団法人 岐阜県山林協会  
E-mail [sanrinag@quartz.ocn.ne.jp](mailto:sanrinag@quartz.ocn.ne.jp)  
<http://www.g-forestry.or.jp> (公社)岐阜県山林協会の情報をご覧ください。

開催日	行事名等	内容等 (概要、定員、受講料、申込期限など)	開催場所 問い合わせ先
8月~9月	清流の国ぎふ 親子「森・川・海」 体験ツアー (夏コース)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●内容: 自然体験・活動を通して、流域の環境について親子で学ぶツアーです。</li> <li>●対象: 小・中学生と保護者</li> <li>●定員: 24名~40名 (コースにより異なります)</li> <li>●参加費: 2,500円~4,900円 (コースにより異なります)</li> <li>●参加申込: 電話、FAXまたはWebサイトから</li> </ul>	岐阜県、三重県  名鉄観光サービス(株) 岐阜支店 TEL 058-265-8103 FAX 058-263-5059 Web「名鉄観光 清流の国ぎふ」 で検索 【申込受付中】
8月1日(火)~ 9月7日(木)	平成28年度 岐阜県緑化運動 ポスターコンクール 入賞作品展示	平成28年度岐阜県緑化運動ポスターコンクールにおける入賞作品40点を展示 <ul style="list-style-type: none"> <li>●入場料: 無料</li> <li>●時間: 飛騨高山まちの博物館の開館時間</li> </ul>	飛騨高山まちの博物館 (高山市上一之町75番地)  岐阜県林政部恵みの森づくり推進課 TEL 058-272-1111 (代表) FAX 058-278-2702
8月19日(土)	森林文化アカデミー オープンキャンパス	岐阜県立森林文化アカデミーは、林業、森林環境教育、木造建築、木工の分野で活躍できる人材を育成している専修学校です。入学を検討されている方を対象に、オープンキャンパスを開催します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>●内容: ①学校の概要説明、②森と木のエンジニア科の説明会、③森と木のクリエイター科教員によるリレートーク、④教員との面談、⑤なんでも相談、在校生とのフリートーク、⑥学内見学ツアーなど</li> <li>●時間: 10:00~16:00</li> <li>●参加料: 無料</li> <li>●事前申込: 要 (Webから)</li> </ul>	森林文化アカデミー (美濃市首代 88)  森林文化アカデミー TEL 0575-35-2525 FAX 0575-35-2529 E-mail info@forest.ac.jp URL http://www.forest.ac.jp/



目次 Contents

イベントカレンダー(一般向け).....	2
白山開山1300年記念行事 ぎふ木育WEEK 山の日フェスタぎふ2017&ぎふ木育キャラバン.....	3
山の歳時記(14) ギンリョウソウモドキ.....	4
国際ウッドフェアin長野への出席.....	5
環境保全モデル林 第5号「揖斐川町城台山」開所式が行われました。.....	5
森林と人を活かす知恵(56)「泣けてくる季節」.....	6
「日本式木造軸組住宅に関する韓国技術者研修会を開催しました」 わがまちの森林・環境行政(8) 関市の森林づくり.....	7
シリーズ:『森林・環境税』で「緑豊かな清流の国ぎふ」づくり(4).....	8
山のおじやまむし(313).....	9
引き裂かれた胸と腹、クワガタムシ.....	10
木の香るぎふの施設(56) 龍華保育園.....	11
普及コーナー.....	12
恵那地域における普及活動.....	12
研究コーナー.....	14
一億円産業への再成長を目指して.....	14
治山・林道研究課題.....	15
補強土壁に係る路面排水の一考察.....	15
国有林の現場から(11) 赤沼田の天保林.....	16
保安林における制限.....	17
林業者向けお知らせ.....	17
市況.....	18

岐阜県の森林・林業 News of the forest

# 森もりのたより

No.767 8  
2017 August

表紙●「山の日フェスタ2016」及び「ぎふ木育キャラバン」の様子

# 白山開山1300年記念行事

# ぎふ木育WEEK

## 山の日フェスタぎふ2017&ぎふ木育キャラバン

山の日フェスタぎふは、八月の「ぎふの山に親しむ月間」に合わせて、木の国・山の国県民運動の中心的な行事として、平成18年度から毎年、県内各所で開催しています。

今年は8月6日～11日までを「ぎふ木育WEEK」とし、8月6日にJR岐阜駅アクティブGにて、「山の日フェスタぎふ2017」を、8月11日には、ぎふ清流文化プラザにて、「ぎふ木育キャラバン」を開催します。

### 山の日フェスタぎふ2017

**日時** 8月6日(日)午前10時～午後4時  
**会場** JR岐阜駅 アクティブG 2F・3F

**主催** 岐阜県、(公社)岐阜県山林協会、(公社)岐阜県緑化推進委員会、岐阜県森林組合連合会、岐阜県木材協同組合連合会

**協賛** ACTIVE G、GIFU CITY TOWER 43 ほか

- 山や清流を楽しむ：夏休みの自由研究に役立つ、山・森の恵みをつかったワークショップ（森の色エンピツづくり、松ぼっくり工作、マイ箸づくりなど）
- 山や清流を味わう：ぎふの山や清流の恵みを使った限定ランチ
- 山や清流を知る：県産材の家づくり、清流の国ぎふ森林・環境税、ぎふの木のおもちゃの紹介など



### ぎふ木育キャラバン

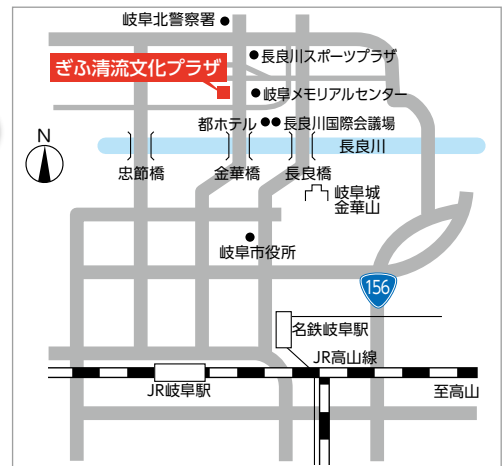
**日時** 8月11日(金・祝)午前10時～午後4時  
**会場** ぎふ清流文化プラザ 長良川ホール

**主催** 岐阜県、ぎふグッド・トイ委員会、NPO法人岐阜県木育推進協議会、(公社)岐阜県山林協会、(公社)岐阜県緑化推進委員会、岐阜県森林組合連合会、岐阜県木材協同組合連合会

- からだいっぱい木につつまれて、木といっしょになろう！「木のプール」
- 木の玉を転がして、木の音色を楽しもう！「森のがっしょうだん」
- あかちゃんも一緒に楽しめる！「あかちゃん木育ひろば」もあるよ
- ぎふの木のおもちゃも大集合！おもちゃ遊びのプロが楽しく盛り上げます
- 今年もやります！「世界つみぼぼ選手権」(①11:30～/②14:00～)



岐阜に「東京おもちゃ美術館」がやってくる!!



問い合わせ先：恵みの森づくり推進課 江崎または河合 TEL 058-272-8821 FAX 058-278-2702 E-mail c11513@pref.gifu.lg.jp



文：樹木医・日本森林インストラクター協会 理事 川尻 秀樹

「これは珍しいね、ギンリョウソウモドキだよ」

別名アキノギンリョウソウとも呼ばれますが、多くの人にギンリョウソウと間違えられるものに、このギンリョウソウモドキとシヤクジョウソウがあります。これらは少し前までイチヤクソウ科に分類されていましたが、最新のAPG分類ではツツジ科に分類されています。色が白っぽいためか、その生態

が不思議なためか、山ではこれらを総称して「幽霊茸」とも呼びます。一般に植物は葉緑素で光合成をして生活するのが普通ですが、これらは葉緑素をまったく持たず、主に生物の遺体（土壌腐植）から菌根をつかって養分を吸収して生活する「腐生植物」の一種です。

「腐生」という生活様式は、生物の死体や分解途上のものを栄養源とするもので、腐生植物は内生菌根と共生して、菌類が動植物の遗体分解物から有機物（炭素源）に依存して成長します。つまり腐生植物は生態系における物質循環で、「分解者」としての役割も担っており、ギンリョウソウモドキの果実を持ち帰って自宅で蒔いても、うまく育たないのです。

これら3種の見分けポイントは花期と果実です。最初に、ギンリョウソウの花は白色で6〜8月上旬、1茎に1花、果実は液果（成熟すると肉厚で汁気の多い果肉に包ま

れるもの）で横向きにつき、枯死後に腐敗します。ギンリョウソウモドキの花は白色で8月下旬〜9月、1茎に1花、果実は蒴果（果皮は2枚以上の心皮でできており、成熟すると乾燥するもの）で上向きにつき、枯死後に腐敗しないで冬を越します。最後にシヤクジョウソウの花は淡黄色で7〜8月、1茎に多くの花をつけ、果実は蒴果で上向きにつき、枯死後に腐敗しないで冬を越します。

ギンリョウソウモドキとギンリョウソウは、1938年までは同じ植物と考えられていました。しかし上記のように、ギンリョウソウモドキはギンリョウソウよりも遅く花が咲くだけでなく、果実が熟すと裂ける蒴果で、花は下向きに咲きますが、果実は直立して上向きにつき、褐色のかさかさした感じに枯れる特徴から別種とされたのです。

最後に中国では、ギンリョウソウ

ウの透き通るような容姿の美しさを水晶に例えて「水晶蘭」と呼び、生薬でも「水晶蘭」は全草にモノトロペイン、ブドウ糖、果糖などを含み、強壮、強精、鎮咳に用いられるそうです。

稀にしか見られないギンリョウソウモドキ。もしも晩夏の山で見つけたら、ギンリョウソウとの違いをじっくり観察してみてください。



▲山間で咲いたギンリョウソウモドキ（古川明里さん撮影）

# 国際ウッドフェア in 長野への出展

平成29年5月24日(水)から26日(金)までの3日間、国内外から最新の林業機械やバイオマス関連機器等が一堂に会する「国際ウッドフェア」(主催:フジサンケイ ビジネスアイ(日本工業新聞社))が、長野市のビックハットで開催されました。

期間中は、オーストリア、フィンランドを含む国内外の93企業・団体が森林管理や木材の生産・加工にかかわる機械などを展示。森林管理への活用が期待されるドローンのほか、屋外ではバイオマス発電などに利用される木質チップ加工装置なども展示され、計3,790名が訪れました。

本県は、ぎふ性能表示材認証センター等と連携して、木の格子を基調としたブースを出展。ブース内では、大型プロジェクターによる2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた県産材の利用促進活動の紹介、ポスター・写真等による県産材や岐阜・長野両県の連携の取り組みの紹介、また、木製のおもちゃ・製品・枡・ストラップ等の小物を展示し、ぎふの木と直接触れ合っていたく空間を創出しました。

来場者を実施したアンケート(有効回答数170人)では、「木のおもちゃ・木工品が良かった」、「木の雰囲気溢れていて良かった」、「カワイイ」などの意見が寄せられ、県産材のイメージアップに繋がったと考えます。

今後も業界の方々と連携して県産材利用促進のプロモーションに取り組んでまいります。



【県産材流通課 富田 清一郎】

●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-8487 県産材流通課まで

## 環境保全モデル林

### 第5号 「揖斐川町城台山」<sup>じょうだいさん</sup> 開所式が行われました。

県では、「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用し、環境を重視した、森林を守って活かす「恵みの森林づくり」を進めています。

その取り組みの一つとして新たな里山林再生手法の確立と全県への展開を目指した「環境保全モデル林」整備事業を県内5か所で進めてきました。

第5号として整備した「揖斐川町城台山」の利活用スタートを記念し、平成29年7月1日(土)に管理棟前にて開所式が行われました。

#### 環境保全モデル林 第5号 「揖斐川町城台山」

場 所： 揖斐川町三輪1323-1 (管理棟)

面 積： 約38.12ha

整 備： 管理棟、展望台、遊歩道、標識 等

活 動： 開所後は里山散策、歴史体感、環境教育、次世代育成のフィールドとして利活用が展開される予定です。



▲遊歩道



▲開所式の様子

【恵みの森づくり推進課 富本 守】

●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-8472 恵みの森づくり推進課まで

# 「泣けてくる季節」

岐阜県立森林文化アカデミー 准教授 ● 柳沢 直

## ●花粉と言え

突然ですが皆さん毎年花粉症で苦勞しておられませんか？ 私事で恐縮ですが、私も毎年大変な目に遭っています。今年でいえば正月明けの一月十一日には既に目がヒリヒリ。その後四月までの間に目が痒くなったり、喉がいからっぽくなったり、消化管上部に焼けつくような痛みを感じたり。これらはスギ・ヒノキの花粉症だと思われる。不思議なのは、これらの症状が始める時期に仕事場の近くのスギを観察してもまだ蕾は固く、花粉を飛ばしているように見えないことです。おそらく周囲のスギではなく、遠方から飛んできた花粉を身体が感知しているのではないかと思われます。恐るべき感度です。部屋を閉め切っていてもお構いなし。いやはや逃げ場がありません。

スギ・ヒノキが終わると息つく間もなく次の花粉が襲ってきます。そう、イネ科の花粉です。私にとってはこちら

の方が数倍質が悪いです。理由は症状のひどさです。写真をご覧ください。痒さのあまり目をこすりすぎたため、目の中に水膨れができています。くしゃみと鼻水は止まらないし、ろくなことがありません。



目の中に水膨れが！

## ●花粉症から自然をみる

気がつくとき散々花粉症の悪口を書いたしまったようですが、本当に書いた

い事はそれではありません。

花粉は忘れかけていた季節の変化や、昔と異なる自然の変化についてきづかせてくれるのではないかとということ。私は花粉症を自覚してからイネ科植物の開花には人一倍敏感になりましたし、そのおかげで普通の人とは少し違った春の訪れを感じています。また、最近路傍の雑草に、ネズミムギやシナダレスズメガヤなど人間が牧草や緑化のために持ち込んだものが逃げ出して野生化した外来雑草（しかもイネ科！）が増えていることを実感します。

## ●日本の森林と花粉症

普段森林や林業に興味のない人も、花粉症を通じて、他人事ではなく自分の事として日本の森林や林業の置かれている状況に興味を持ってくれるかもしれません。1960年生まれの人以降から、スギ花粉に対する抗体を持つ割合が急激に増加することから、スギ花粉症と拡大造林との関連が指摘さ

れるところですが、単一の樹種による大面積造林が森林生態系を単純化させた結果、このような病気が増える事になるとは誰も予想できなかったことでしょう

## ●生物多様性の大切さ

今や日本人のおよそ4人に1人は何らかの花粉症を発症しているそうです。様々な生き物が暮らす豊かな森林の恵みとよく言われますが、生物多様性の高い森林であれば、ここまでの事にはならなかったかもしれません。森林は恵みだけでなく、花粉症のような形でも我々の日常生活に影響を与えているのです。日本の森をこれからどうしていくのか、都市に暮らす人も一緒にあって、もう一度真剣に考え直す必要があるのではないのでしょうか。



スギのつぼみ (1/11森林文化アカデミー)

# 「日本式木造軸組住宅に関する 韓国技術者研修会」を開催しました

県では、海外への県産材の販路拡大を図るため、これまで韓国で開催された住宅資材展示会への出展や韓国の建築技術者に対するセミナー等により、県産材のPR活動等を行ってきました。

韓国の木造住宅のほとんどはツーバイフォー工法であるため、韓国の建設現場で実際に働いている技術者に、まずは日本の木造軸組住宅がどのようなものなのか、知ってもらう必要があります。そこで、5月24日から26日にかけて、韓国の大工等の技術者15名を対象とした研修会を県内で初めて開催しました。

## 【1日目】

森林文化アカデミーにおいて、木造住宅の施工時の注意点について、小原准教授から講義を受けました。韓国では、電気の配線等が必要となる穴を壁や柱に現場の感覚で開けてしまうこともあるようで、受講

生の皆さんは、断面欠損の考え方に興味を示されていました。



▲森林文化アカデミー小原准教授による講義

## 【2日目】

親和木材工業(株)の製材・加工施設を見学しました。キットハウス用の中空木材等の建築部材が加工されていく様子を見て、品質の高さに驚かされていました。



▲中空木材の説明（親和木材工業(株)にて）

次に、後藤木材(株)のプレカット工場を見学しました。ツーバイフォーの部材よりもプレカット製品のほうが、ち密で韓国の伝統建築に合っているとの意見がありました。

## 【3日目】

(株)新和建設の住宅建設現場と住宅モデルハウスを見学しました。日本の木造軸組住宅の技術の高さに感動されました。

研修生の感想から、今後、韓国で日本の木造軸組住宅を普及させていくためには、建設現場のニーズに応じた明確な流通方法や、構造計

算等による確かな設計のもと、設計通りに施工できる技術が必要であると感じました。

今後は、引き続き海外の展示会において県産材のPR活動を行うとともに、現地バイヤーとのマッチングや人材育成についても取り組んでいきたいと考えています。

最後に、本研修に快く協力をいただきました事業者の方々に、お礼を申し上げます。



▲修了証授与記念撮影（(株)新和建設モデルハウスにて）

●詳しい内容を知りたい方は

TEL 058-272-8487

【県産材流通課 三輪 哲司】

県産材流通課まで

# 関市の森林づくり

関市の森林づくり施策を紹介します。



関市イメージキャラクター  
関\*はもみん



## 森林の概要

岐阜県の中心部に位置する関市は、市面積472km<sup>2</sup>のうち81%を森林が占め、そのうち89%は旧武儀郡となっています。森林面積のうち、91%を民有林が占めており、人工林は全体の44%あり、そのうち、スギ・ヒノキが97%となっています。

## 交流と生きた森林づくり

森林整備促進施策では、林産物の供給のほか、洪水や山崩れ防止、良質な水の安定的な供給、地球温暖化防止等の公益的機能など森林が持つさまざまな機能が今後も継続するよう、健全で災害に強い森林を整備するとともに、生活協同組合コープぎふの「コープぎふの森」や「エコピアの森」



▲コープぎふの森・関



▲エコピアの森・関

ふの森・関や(株)ブリヂストン関工場の「エコピアの森・関」といった企業との協働による森林づくりを通じ、森林と市民の交流と生きた森林づくり活動を行っています。

## 将来の担い手づくり

林業振興施策では、地場産木材を使用した住宅建築(上之保デカ木住宅センター等)やシイタケなどの林産品の生産拡大を促進するとともに、林業経営の担い手育成につながる森林教室や林業体験を行っています。

武儀地区では、

授業の一環として、市立武儀西小学校の5年生が『椎茸教室』を開催し、関市椎茸振興会会員が講師となり、原木に菌を打ち込む作業や菌を



▲森林教室 チェーンソー体験



▲椎茸教室・菌打ち込み体験

打ち込んだ原木を学校で児童が手入れする体験を行っています。



▲木登り体験

また、市立津保川中学校の1年生が『森林教室』を開催し、地域の林業グループが講師となり、チェーンソー体験や木のぼり体験といった林業体験を行っています。

## 森林と親しむ”木育“

幼いころから地元の森林に親しみを持ってもらう「木育」として、昨年度から市立保育園児を対象とした『森のようちえん』を、平成27年度からは市有林から搬出した木材を市内で加工した天板を使用した机を市内小・中学校へ順次取り入れています。

今年度は、『刃物のまち』と『木育』がコラボし、幼少期から正しい刃物の使い方を学び、遊びを自らつくり出せる子どもを育成することを目的に子ども用ナイフの制作に取り組んでいます。10月7日(土)・8日(日)に開催される『第50回関市刃物まつり』にこのナイフを使ってイベントを開催します。

## 第50回関市刃物まつり

刀祖・元重の遺徳を偲び、「刃物のまち関市」を内外に広く宣伝し、刃物産業の発展につなげようと、昭和43年に第1回を開催し、今年で50回目。

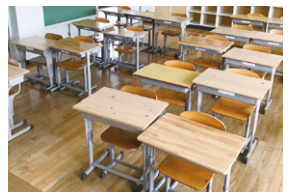
関市民にとって最大で特別なイベントへ向けて、皆が一体となった機運を高め充実した内容で皆様のお越しをお待ちしています。

日時 2017年10月7日(土)・8日(日) 10:00~17:00

場所 関市本町通り一円 主催: 関市刃物まつり実行委員会



▲森のようちえん



▲関市産材の机

●詳しい内容を知りたい方は  
TEL 0575-231-9251

関市林業振興課まで



## 『森林・環境税』で“緑豊かな清流の国ぎふづくり”

4

平成24年度より県民みんなで豊かな自然環境を守る仕組みとして導入した「清流の国ぎふ森林・環境税」は、平成33年度末まで5年間延長されました。税活用事業の内容も見直しをしましたので、新しい内容の事業を含め連載で紹介します。

## 里山林整備事業 ～集落、農地等周辺の里山林整備を支援する事業です～

### 事業実績

県では野生鳥獣による被害の軽減など地域住民の生活環境の保全や、生物多様性の保全を図るため、市町村や各種団体が行う里山林整備の経費を補助しています。

計画最終年である平成28年度は、24の市町村において、約485.80haの里山林整備が進みました。

これにより平成24年度から平成28年度における整備面積は整備目標2,600haを上回る 2,649.3haとなりました。

### 平成28年度の事業実績一覧

事業種別	事業量	事業費 (円)	森林・環境税 (円)
侵入竹の除去	0.36ha	227,079	108,000
森林病虫害の防除	413.2m <sup>3</sup>	3,652,560	3,472,000
広葉樹等の植栽	0ha	0	0
修景等の環境保全	18.53ha	3,206,170	2,316,250
不用木の除去	400.82ha	82,565,765	79,014,320
危険木の除去	24.85ha	94,719,450	93,374,969
バッファーズーンの整備	41.24ha	29,943,841	27,270,500
附帯施設の整備	2箇所	2,000,800	1,560,000
既存施設の改修	8箇所	29,013,640	26,077,575
計	森林整備 485.80ha 施設改修等 10箇所	245,329,305	233,193,614





# 山のおじまむし



## — 引き裂かれた胸と腹、クワガタムシ — 【第313回】

自然学総合研究所 野平 照雄 ● Teruo Nohira

一昨年（2015年）、孫のY君がカブトムシ（以下、カブト）を飼育した。餌や水をせっせと与えて世話をした。その結果、10月下旬まで生きていた。カブトがこんな時期まで生きている。私は驚いた。カブトの寿命は1ヶ月で、お盆過ぎにはいなくなると言われていたからである。このことからカブトは餌さえあれば秋まで生きられる。しかし、カブトの餌である樹液はお盆を過ぎると出なくなる。だから秋まで生きられないのだと思った。私自身勉強になった。カブトの死後、飼育容器（以下、容器）内にある培養土（以下、土）を掘り起こした。またまた驚いた。5cmもある大きな幼虫が、すし詰め状態で22匹もいたのである。土はほとんど食い尽くされ、表面は糞で覆われていた。幼虫は大きな容器に移し替え、餌の土もたくさん入れた。翌年の5月下旬、土を掘り起こし、中の様子を見た。幼虫はさらに大きくなり、ほとんどが10cm前後。8匹が蛹になっていた。はじめて見る蛹にY君の目は輝いていた。6月上旬の朝、ついにカブトが2匹姿を現した。Y君は大喜び。これからはY君が主役だ。その後、カブトは次々と出てきた。Y君は昨年と同じように世話を始めた。

× × × ×

ある日「カブトムシが死んでいる」とY君。その死骸を見て異常だと思った。胸と腹がはがれていたのである。それが3日後にも同じような死骸が2匹見つかった。カブトは共食いをしないので、これは餌の取り合いで争いとなり、敗れた者の死骸だと思った。しかし、そうだとしても腹と胸が切断されているのは何故か。こんな疑問が残った。その後も数匹死亡したが、このような死骸はなかった。残ったカブトは元気で、動き回っていた。そのうちにY君は「クワガタムシを飼いたい」と言い出した。私自身、カブトよりクワガタムシ（以下、クワガタ）の飼育に興味があったので「わかった。たくさん採ってやる」と口にした。Y君は大喜び。しかし、約束したからにはクワガタをたくさん採らなければならぬ。大きなプレッシャーとなった。そこでクワガタをバナナでおびき寄せて採ることにした。この仕掛け（トラップ）を5個作り、6月下旬に近くの山に仕掛けた。その後、2～3日おきに出かけてクワガタのオスだけ回収し、これを10月下旬まで続けた。炎天下で山へ上るのはきつかった。しかし、私の知らなかったクワガタの行動を次々と目にし、またまた勉強になった。Y君のお陰だ。ありがとう。以下、その概要。

× × × ×

7月中旬、ミヤマクワガタ（以下、ミヤマ）が2匹採れた。これをカブトと一緒に飼うことにした。その翌日、カブト2匹が死亡した。ミヤマにやられた。間違いないと思った。しかし、2匹とも前のカブトと同じように胸と腹がはがれている。本当にミヤマなのだろうか。カブトムシ同士の争いではないかとも思った。

だけどミヤマの仕業だと決めつけた。と言うより私の勘であった。その後、クワガタは別の容器に入れるようにした。7月下旬からノコギリクワガタ（ノコギリ）も採れるようになり、数は増えていった。8月上旬、Y君が「クワガタムシが死んでいる」と知らせに来た。死亡したのは3匹のミヤマ。このうち2匹はカブトと同じように胸と腹がはがれていた。しかし、この容器にカブトはいない。ノコギリにやられたのだと思った。だが、これも胸と腹がはがれている。何故か。いくら考えてもわからなかった。神様からのお言葉（勘）もなかった。8月中旬頃からコクワガタが採れるようになった。ただ、コクワガタは小さいので、大きなミヤマやノコギリにやられてしまうのではないか。こんなことを思った。ところがそうではなかった。コクワガタはしたたかで、普段は容器内にある産卵用丸太の下に身を隠し、すきを見て餌を食べていたのである。小さな虫が自然界を生き抜く知恵。この容器内で垣間見ることが出来た。

× × × ×

9月上旬、飼育中のミヤマはすべて死亡した。野外でも採れなくなったことから、ミヤマの寿命は夏までだと思った。しかし、ノコギリとコクワガタは違った。時々ではあったが、10月になっても採れるのである。それに飼育中のものもノコギリが3匹、コクワガタが10匹生き残り、元気な姿で11月を迎えた。11月20日、すべて元気である。この姿を見て、両種ともこのまま冬を越す、いや越して欲しいと願った。ところが6日後に



▲胸と腹が割かれたミヤマクワガタの死骸

ノコギリはすべて死亡した。しかし、コクワガタは元気であることから、ノコギリの死は寿命だと思った。仏になったノコギリは安らかに眠っているようであった。一緒にみていたY君が「可愛そうだね」と言った。この言葉が心に響いた。残ったコクワガタはそのまま冬の眠りに入った。翌春、長い眠りから目覚めたコクワガタは餌をもりもり食べて、動き回っている。この姿をY君と一緒に下のチビちゃん二人も見ることができた。真剣な眼差しで見つめるチビちゃんたち。その姿に心が和んでしまう。



# 龍華保育園

岐阜県高山市石浦町7丁目345番地



施設全景

## 施設概要

事業年度	平成28年度
事業主体	社会福祉法人石浦龍華会
構造・ 延床面積	鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 1,535㎡
施設用途	保育所
木材使用量 使用樹種	県産材使用量 22.37㎡ 主な使用樹種 ヒノキ
全体事業費	429,840千円（建築）
助成額	岐阜県：清流の国ぎふ森林・環境基金事業 15,220千円 高山市：保育所整備費補助金 （保育所等整備交付金含む） 288,790千円
設計者	有限会社新井設計事務所
施工業者	奥原建設株式会社
工期	平成28年5月9日から平成29年3月10日

## 施設の経緯

社会福祉法人石浦龍華会では、保育園の子どもたちが自然と触れ合う中で、香りや手触り、音などの五感を使って自然に親しむ環境を整備しています。園庭にはたくさんの樹木があり、園舎の中においても多くの自然を感じられるように木をふんだんに使いました。また積み木やままごとセットなどのおもちゃも木製にこだわり、木に親しむ保育を行っています。冬の寒さの厳しい地域ですが暖房には薪ストーブを利用しており、薪の炎のあたたかみを感じたり、春には薪割のお手伝いなどを通じて自然との共生を意識した保育園づくりをしています。



とても明るい  
玄関ホールと  
広い窓と高い  
天井の遊戯室



## ここに注目!!

- 木の香りと温もりを感じることができる岐阜県産のヒノキを床に、スギを腰壁にとふんだんに使用しており、自然を室内で体感できます。

## 利用者の様子

- 体に優しい木の床を、思いっきり走ったりとんだりとても楽しそうに遊んでいます。各部屋のロッカーや机、椅子などもすべて木製で明るくあたたかみがあります。



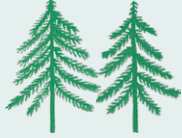
薪ストーブのぬくもりと炎の色で心も癒されます

### ■問い合わせ先

社会福祉法人石浦龍華会 龍華保育園  
TEL 0577-34-7250



# 恵那地域における普及活動



■恵那農林事務所 林業普及指導員 今井 和重

恵那農林事務所管内は、岐阜県の東南部に位置し、中津川市、恵那市の2市からなる地域で、県を代表する銘柄材の「東濃松」の産地として有名な林業地です。

地域の森林面積は約93千ヘクタールで、そのうち約8割にあたる72千ヘクタールが民有林です。また、民有林の人工林率は県平均を大きく上回る61%であり、その約8割がヒノキ林です。今回は、当管内における林業普及活動の事例をご紹介します。

## 地域の課題

効率的な木材生産と、持続可能な林業経営に向けて

地域の人工林の6割が11齢級以上と、他の地域と同様「人工林の少子高齢化」が急速に進んでいます。

利用可能な森林資源が充実してきたなかで、積極的な木材生産への取組みが求められています。木材の生産性向上のため、林業機械の活用や路網の整備が不可欠であることから恵那農林事務所では、これらに関する研修会を開催しました。

また、持続可能な林業経営や森林の若返りのため、主伐・再造林は重要な課題であり、県が進めている「主伐・再造林実証プロジェクト」に取り組んでいます。

## 取組み①…架線集材技術研修

明智国有林内の皆伐現場において、恵那森林組合が県所有のトラクター型タワーヤーダのOJT研修を受講しました。架設撤去、機械の操作、トン掛けや効率的な集材方法を学び、その後約二カ月間、同機械を借り受け、実際に皆伐事業地の集材作業を行いました。皆伐は初めてという森林技術者も多い中、伐倒方向、架線の位置、作業手順など試行錯誤を重ねながら実施しました。また、新型ラジキャリを使用した集材システムについて現地検討を行い、スピードや操作性など意見を申し合いました。

この機会を利用して、管内の林業事業者の方々にも木材生産の一手段として、皆伐事業が検討できるよう、タワーヤーダでの集材状況を見学する公開研修会を行いました。

高性能な林業機械への関心は高く、研修会に参加し



▲架線集材技術研修の様子



▲作業道研修の様子

た森林組合では、職員を海外研修に派遣するなど、地域での新たな展開につながっています。

## 取組み②…壊れにくい作業道研修

効率的な木材生産のため、適切な路網の整備は不可欠です。恵那地域には花崗岩が風化した「マサ土」が広く分布しており、路網の開設には細心の注意が必要です。また、開設した路網の維持管理のために「壊れにくい丈夫な作業道」の開設が求められています。このため、市と林業事業者を対象とした作業道開設研修会を実施しました。



研修会では、地形・地質や森林資源の状況に応じた路網配置や線形の検討、維持費を軽減するための壊れにくい作業道づくりなどについて解説しました。また、法面の浸食状況や排水工の施工方法、危険地形の指標となる植物や立木の曲り状況などを現場で確認しました。

研修を通じ、状況に応じた路網配置や、開設を避けるべき地形などの基礎知識を理解してもらいました。今後は、現場で使いやすい地図データの活用等について取り組みたいと考えています。

### 取組み③・木材生産流通の勉強会

近年、県内各地に大規模な木材加工・利用施設が整備され、A材からD材に至るまで木材需要が伸びています。木材の需要動向を的確に把握し、求められる材を適時に供給することが山側に求められています。

このため、県森林組合連合会東濃林産物共販所と連携し、木材生産を行う事業者等と木材生産流通の勉強会を行いました。木材の用途が広がり、根元から梢端まですべてが活用できることから「1本の木から最大の売り上げを得る」ための採材方法について話し合いました。また、納入する材の規格を正しく理解することも重要であり、具体的な事例を示し、関係者間で共通の認識を持つことができました。

今年5月には、中津川市有林の皆伐現場で、D材利用促進のための現地実証を行いました。これまで活用されなかった短材や枝条を現場から直接収集し、木質バイオマス利用施設へ供給する計画です。今後、皆伐事業の拡大に伴い、枝状等の増加が予想されます。今回の実証結果を活かし、これらの資源の活用につなげたいと考えています。

### 取組み④・主伐・再造林の実証

林齢構成の平準化による持続可能な森林づくりと、主伐期を迎えた高齢林の伐採により木材需要に 대응するため、主伐・再造林は緊急な課題となっています。効率的な作業方法や経費等を具体的に示し、主伐・再造林への関心を高めてもらうことが重要だと考えています。このため、中津川市及び中津川市森林組合と協力し、モデルとなる皆伐事業地を設定しました。モデル事業地では、事前に岐阜県森林組合連合会東濃林産物共販所の協力を得て、木材生産量や収入を予測しました。また、組合所有の林業機械を活用した効率的な作業方法や、低コスト再造林について検討を行い、これに基づき作業を進めました。作業は、今年4月から6月にかけて実施し、現在モデル事業地から



▲D材利用現地実証の様子

得られた情報をもとに検証作業を進めています。(6月現在)

一方、木材生産に適さない人工林について、主伐後の天然更新の可能性を調査しました。引き続き複数の事業地で検証を行い、地域の条件に合った天然更新の基準を作成したいと考えています。



▲天然更新の現地調査の様子

### 取組み⑤・低コスト造林の取組み

主伐後の低コスト造林のため、コンテナ苗は不可欠なものとなりました。中津川市の樹苗生産者は、県内でもいち早くコンテナ苗の生産に取り組みました。生産当初は、コンテナ苗に関する情報が不足し、林業普及指導員等関係者が一体となって取り組んだ結果、現在では安定的な生産が可能となりました。

また、加子母森林組合では苗木を5本程度群状に植栽する「菓植え」を行い、低密度ながらも優良材生産を目指す試みを行っています。この地域ではシカの食害が増加していることから、薬剤塗布や菓単位を防護柵で囲う防除

対策なども試行しています。

このように、地域の需要や現地状況を考慮した施策を行い、植栽及び植栽後の保育にかかるコスト削減について検討を進めています。



▲菓植えのシカ防護柵

### おわりに

恵那地域の森林の多くが、伐期を迎えようとしています。一方で、古くからの林業地でもある当地域が、今後も永く林業を営むために、次世代の森林づくりは不可欠です。

多くの人々の手で、長い時間をかけ作り上げてきた恵那地域の森林を、これからどのように活かし、未来につなげていくのか？

この大きな課題に答えられるよう地域の関係者のみなさんと一緒に考え、取り組んでいきたいと思えます。

●詳しい内容を知りたい方は

TEL 0573-26-1111(代)

恵那農林事務所まで

## 一億円産業への再成長を目指して — 高原山椒の優良苗育成 —

森林研究所 ● 茂木 靖和



写真1 山椒栽培株

今年も暑い夏が到来し、ウナギの恋しい時期になりました。その引き立て役として欠かせない食材に山椒があります。高山市(旧上宝村)の高原川流域で生産される高原山椒は、実が小粒で緑色が濃く、香りが非常に強く長持ちする特徴があります。特にこの時期(7月後半から8月)に収穫されるものは品質が高く、調味料や香辛料の最高級原料として出荷されています。しかし、栽培株(写真1)の枯死や労働力不足などにより生産量が減少し、供給量が需要に満たない状況にあります。

そこで、当所では、中山間農業研究所と共同で、この地域の山椒の優良な特徴を持つ苗を、省力的に育成する技術の開発に取り組んでいます。

### 1. 優良苗に求められる性質

① 高品質な実を生産できる苗  
高原山椒が最高級品として評価される理由は、色と香りが優れるところにあります。特に色は、厳しく評価されます(写真2)。収穫が遅れると赤く変色するため、生産者は、長期間に渡り実の色を緑色に保つ性質の苗を求めています。



一等品 (高単価)  
緑色の実

二等品 (低単価)  
赤色の実を含む

写真2 山椒の品質管理

### 2. 苗の育成方法

② 生産性の高い苗  
一株当たりの収量の多さに加えて、収穫効率の高さが求められます。単価の高い実を多く生産するには、赤く変色する前に収穫する必要がありますが、そのためには短時間で収穫できた方が有利です。具体的には、一房当たりの実数が多い、或いは実の付き方が点在せず集中するといった性質が求められます。

山椒の生産に熱心な生産者は、前項目の①、②の性質をもつ栽培株を所有しています。その株の枝を材料に用いてさし木を行うことで、元の栽培株(母樹)の性質を受け継いだ苗を育成できます。試験では、さし木後の灌水手間を省力できる密閉挿し(図1)の検討を進めています。

### 3. 試験の進捗と今後

これまでに実施した6月または7月に採取した当年枝(その年に新たに伸長した枝)を材料に用いた試験では、供試した枝の母樹によって100%近く発根するものから、全く発根しないものまで存在することを確認しました。

今後は、これまで成績が悪かった母樹のさし木条件の改善と、育成したさし木苗(写真3)を早期に収穫可能な栽培株へ誘導するための育苗条件を明らかにしていきます。これを実現することで、かつて販売額一億円といわれたこの地域の山椒栽培の再成長に貢献したいと考えています。

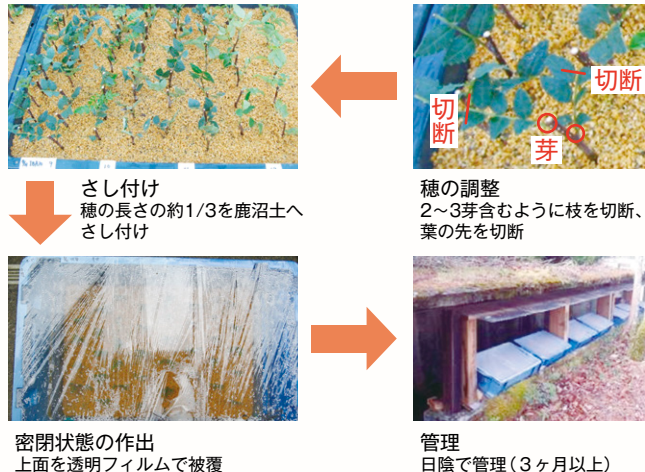


図1 山椒の密閉挿し



写真3 現地移植後の山椒さし木苗

● 詳しい内容を知りたい方は

TEL 0575-331-2585

森林研究所まで

治山、林道の各研究会では、日頃の業務で直面する課題について、調査・研究を行っています。今年2月に行われた発表会（本誌763号18～19ページ）で発表された研究課題を紹介いたします。

# 補強土壁に係る路面排水の一考察

郡上農林事務所林業課 後藤 真希

## 補強土壁の被災

平成28年9月19～20日にかけて台風16号の豪雨により、郡上市八幡町那比地内にある林道中美濃線の補強土壁が3箇所被災しました。（写真1）



写真1

いずれの被災箇所も、局所的集中豪雨により想定外の水が路面を流れ、補強土壁盛土部へ流入したことが原因であると考えられました。

郡上市は補強土壁の施工実績が多い一方、これまで補強土壁が被災した事例はなく、今回の被災が初めてでした。今回、3箇所と同時に似たような災

害が発生したことから、被災原因を詳しく調査し、再発防止に努める必要があると考えました。

## 調査方法・調査結果

被災のあった中美濃線では補強土壁工が数多く施工されていることから、被災箇所3箇所を挟む中美濃線約1km区間における補強土壁工16箇所（被災箇所3、非被災箇所13）を調査しました。調査項目は、

- ① 縦断勾配
- ② 補強土壁区間の線形
- ③ 直近上流部の曲線半径
- ④ アスカーブの設置の有無
- ⑤ 横断溝と補強土壁の間隔の5項目です。

調査の結果、被災箇所は非被災箇所と比べ、縦断勾配が急で、横断溝の間隔が広い傾向にあることが分かりました。このことから、被災箇所は豪雨時に路面水が集中しやすく、被災のリスクの大きい場所であったと考えられます。（図1）

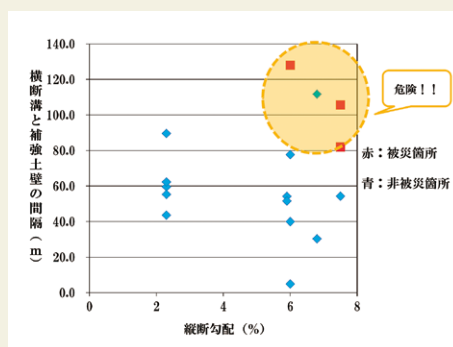


図 1

## 排水対策

この調査結果を踏まえ、路面水の排水対策を3つ提案します。

- 1つ目は、路面排水用横断溝の50～80m以内の間隔での設置です。これにより、補強土壁区間を流れる路面水の量を減少させ、路面水が盛土部へ流入するリスクを減らすことができます。
  - 2つ目は、アスカーブの設置です。アスカーブの設置により、盛土部への路面水の流入を防ぐことができるため、急勾配区間や路面水が盛土部へ集まるような線形、横断溝を適正な間隔で配置できないような場所では、アスカーブの設置が特に重要となります。
  - 3つ目は、補強土壁天端における張りコンの施工です。張りコンの施工により、天端からの路面水の流入防止及び天端の洗掘防止が期待できます。
- 以上、3つの排水対策により、中美濃

線の補強土壁に係る排水対策フローチャートを作成しました。（図2）路面排水用横断溝の設置間隔及び縦断勾配を条件に含め、5パターンの状況に応じた対策を考えました。

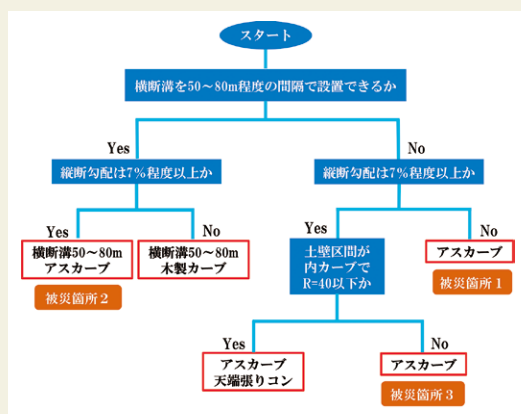


図 2

今回の被災を受け、林道施設工事において、設計・施工マニュアルや各種指針等に基づいた適切な設計、積算、施工はもちろんのこと、施設の維持管理を考えた現場に適した設計、施工を検討する必要があると感じました。今回のように現場で感じる疑問を1つ1つクリアにしていくことが技術力向上に繋がると考え、今後も地域に貢献する林道事業を進めていきたいと思

● 詳しい内容を知りたい方は

TEL0575-671-1111(代)

郡上農林事務所まで

# 赤沼田の天保林

岐阜森林管理署 大島 愛彦・平枋 潤己

赤沼田の天保林。何と読むでしょうか？

赤沼田（あかんた）の天保林（てんぼりん）と読みます。今回は岐阜森林管理署で管理している、江戸時代の天保年間（170年以前）に植えられた国内でも例の少ない歴史ある人工林を紹介します。

## 赤沼田の天保林の概要

- 天領時代の天保14年（1843）に植栽されたヒノキを主とする高齢級の人工林で、中部森林管理局管内で最も古く貴重な林分です。歴史的、学術的に価値が高く、保護するために赤沼田天保ヒノキ希少個体群保護林に指定されています。
- 所在地 下呂市小坂町赤沼田 赤沼田国有林232い、ろ林小班
- 面積 2.97ha
- 成立本数 870本
- 樹種別面積割合 ヒノキ69%、サワラ13%、スギ2%、その他針葉樹8%、広葉樹8%

## 赤沼田の天保林の由来

古文書によると、飛騨の天領林政は享保6年（1721年）以降、たびたび植樹令を発して森林資源の枯渇に対処してきましたが、山村住民にとって伐採停止は死活問題であり、植栽に励まざるを得ませんでした。

天保12年（1841年）小坂村ほか46村に対し、1年に1戸につき50本の公役造林を課し、翌年から実行され、赤沼田村では天保13年に3,625本



## 赤沼田の天保林の成長調査

赤沼田の天保林の研究成果として、平成27年度の中部森林学会で発表された高齢級ヒノキ人工林の成長調査の内容を紹介します。

平成26年10月に林内で立ち枯れ、林道、歩道等の危険木となったヒノキ1本、サワラ2本を伐倒しました。これらの樹幹解析（成長過程の調査）を行い、飛騨川森林計画区の人工林長伐期複層林施業の収穫予想表と比較したところ、樹齢70年以降は予想表を上回り、高齢になっても成長は衰えていませんでした。

樹高は樹齢150年時点で、予想表の22mに対して調査木は32mと44%程度上回りました。また、肥大成長（地上20cmにおける直径方向の成長）は樹齢150年時点で10%、幹材積は31%程度予想表を上回る結果となりました。特に高齢になってからの樹高差が予想表と比較して顕著に表れたこと、また250年を超える木曾ヒノキも高

齢になってから一定の成長を続けている報告もあり、赤沼田の天保林は、人工林長伐期施業の参考として更にデータの蓄積が望まれています。

## 赤沼田の天保林へのご案内

赤沼田の天保林は誰でも自由に入ることができ、森林内に駐車スペースもあります。

林の中には1kmほどの遊歩道があり、業務の視察やプライベートでも訪れてみてはいかがでしょうか。道の駅「はなもも」の手前（西側）の道を南に下り、橋を渡って森林内を走って行くと駐車スペースがあります。道の駅「はなもも」から約3.8km。駐車スペースの前には岐阜森林管理署の職員が製作した案内看板が立っています。



詳しい内容を知りたい方は  
TEL 0501-31601-6090(代)  
岐阜森林管理署 森林ふれあい担当まで



# 保安林における制限

## ～立木の伐採の制限～

# 必ず事前の手続きが必要です

### 保安林とは

森林には、木材を供給するだけでなく、豊かな水を育み、洪水や土砂災害を防ぎ、保健・休養の場を提供するなどの機能があります。このような機能を特に発揮させる必要がある森林を「保安林」として指定しています。

保安林においては、森林の機能を維持するために、伐採の制限や伐採後の植栽の義務、森林内での様々な作業行為についての制限が課せられます。

今回は、立木の伐採の制限について説明します。

### 伐採の制限について

伐採方法		手続き方法	手続期間	提出先
禁	伐	伐採は禁止	—	—
主	伐	天然林は許可が必要	伐採を開始する日の30日前までに申請	県農林事務所
		人工林は届出が必要	伐採を開始する日の90日から20日前までに届出	県農林事務所
	皆	許可が必要	皆伐限度面積の公表の日(年4回)から30日以内に申請	県農林事務所
間	伐	届出が必要	伐採を開始する日の90日から20日前までに届出	市町村

### 注意事項

- (1) 主伐(択伐・皆伐)は、市町村森林整備計画で定める標準伐期齢に満たない立木は伐採できません。
- (2) 皆伐の、皆伐限度面積の公表の日は、2月1日、6月1日、9月1日、12月1日(土日を除く)の年4回です。
- (3) 間伐は、樹冠疎密度(林地面積に対する立木の樹冠投影面積との比率)が80%に達していない森林では行うことはできません。

伐採をする場合は、許可又は届出など事前の手続きが必要です。詳細は、県農林事務所又は、県庁治山課にお問い合わせください。

【治山課 長谷部達也】

## 森林・林業関係イベントカレンダー(9月)

林業者向け

開催日	行事名等	内容等	開催場所 問い合わせ先
9月9日(土)	狩猟免許試験	狩猟免許取得のための試験を実施します。 ●時間: 9:30~17:00 ●申込: 8/10~8/25 ※事前に申請書類等の提出が必要です。詳しくは右記にお問い合わせください。	岐阜大学 応用生物科学部棟 (岐阜市柳戸1-1) ----- 各地域を所管する県事務所、 又は環境企画課 (058-272-1111 内線2701)



**コラム** 「赤ちゃんより先にパパが積み木で遊んだの!」出産のお祝いに岐阜県のスギで作られた積み木をプレゼントしたところ、とても喜ばれました。

スギは軽くて柔らか。だから赤ちゃんがものを掴めるようになった頃から使える。あたたかも大丈夫そう。こんなおもちゃで小さな頃から遊んだら、家族みんなで木を好きになってくれるかな?と選んだプレゼントです。もちろん、「岐阜県の木を使っているよ」と伝えました。

大きくなった我が子は、木のおもちゃ、木のグッズを喜んで使います。手触りや香りが好き。ヒノキの香りも大好きです。岐阜県の木と知って触れる機会もあり、将来、暮らしの中でどんな木づかいをするのか楽しみです。

今月、開催される「山の日フェスタぎふ2017&ぎふ木育キャラバン」は、木に親しむことができる絶好の機会です。皆さまもぜひ、お出かけください!

「森林のたより」編集委員 川畑 佳代子

### イベント情報

9月1日発行

### 連載

- 山の歳時記(145)
- 山のおじゃまむし(314)

### 地域の人

- 清流と森と親しむ
- 森林と人を活かす知恵(57)

### 木と親しむ

- 岐阜県の公共木造建築(57)

### 清流の国ぎふ森林・環境税

### わがまちの森林・環境行政(9)

### 森林・林業技術

- 研究・普及コーナー

### 市況情報

### その他

9月号  
予定

## 木材市況 県森連 岐阜・飛騨・東濃林産物共販所

単位:円(1㎡当たり)

回数 共販所名	樹種	長さ	径	平均値	高値	備考
第1633回 岐阜共販所	すぎ	3 m	16~18cm	12,200	—	単価は直材 価格、但し 平均値は並 材二番玉価 格
			16~18cm	11,000	—	
		4 m	20~22cm	11,500	—	
			24~28cm	12,100	16,000	
			30cm以上	12,000	20,000	
	ひのき	3 m	16~18cm	16,500	—	
			20cm以上	15,000	—	
		4 m	16~22cm	16,600	—	
			24~28cm	14,500	—	
			30cm以上	18,000	40,000	
第1211回 飛騨共販所	すぎ	3 m	16~18cm	11,500	—	
			22~28cm	11,000	—	
		30cm以上	11,000	—		
	ひのき	3 m	16~18cm	16,500	—	
			20~22cm	15,500	—	
		4 m	24~28cm	14,000	—	
	30cm以上		17,000	96,500		
	まつ	4 m	24~28cm	9,000	—	
			30cm以上	9,000	—	
		ひめこ	4 m	24~28cm	15,000	—
30cm以上			14,000	—		
第1544回 東濃共販所	すぎ	3 m	16~20cm	12,200	13,100	
			22~28cm	12,400	13,900	
		30cm以上元	13,500	23,800		
	ひのき	3 m	16~20cm	17,000	22,000	
			22~28cm	15,000	19,700	
		4 m	30cm以上元	20,100	42,100	
			13cm以下	9,000	—	
		6 m	22~28cm	14,900	20,200	
			30cm以上元	21,000	50,100	
	まつ	4 m	22~28cm梁	7,500	—	
30cm以上元			10,000	—		

## 木材市場

### 全般的に横ばいで推移

#### 【商況】

スギ並材3m(16~22cm)は不足しており強含み。スギ4m元木、二番ともに中目上強含み。ヒノキは並材4m土台取り強含み、造材は4m(16~22cm)が有利。ヒノキ二番中目材は荷動きも少なく、弱含み。スギ・ヒノキ良材は、樹皮が剥離しているものは売りづらい。製紙パルプ向け広葉樹原木、受け入れ制限となっています。予定される方は共販所担当者まで、一報ください。(岐阜)

ヒノキ良材は応札が多く人気。スギ4m節・欠陥材は売りづらい。スギ並材3m(16~22cm)不足。ヒノキ二番中目は、弱含み。製紙向け広葉樹パルプ受け入れ制限。虫害の時期になり薬剤散布を行っていますが、伐採後速やかに搬出ください。(飛騨)

ヒノキ元木、良材(高齢材及び枝打材など(特殊材))2m・3m・4m・6mは、応札多く横ばい。ヒノキ並材は3m・4m(16~28cm)横ばい、6m(16~20cm)価格安定。スギは全般的に品薄、4m元木、良材は応札も多くやや高値、二番玉並材は3m・4m(16~28cm)横ばい。枝虫材等、欠点材は売りにくい。(杉については、県内新工場稼働(長良川木協)につき今後原木の流れが良くなるが、荷不足感が強い。)センコウムシやゴトウムシの発生時期ですので、速やかな出材をお願いします。(東濃)

#### 製品卸売標準価格 (6月期)

(単位:円)

樹種	用途	寸法(mm)			等級	m <sup>3</sup> 当り 価格	(本(枚)単価)	前月 比較
		長	巾	高				
スギ	柱	3000	105	105	1等	65,000	( 2,150)	→
	間柱	3000	105	30	1等	65,000	( 614)	→
ヒノキ	土台	4000	105	105	特等	65,000	( 2,867)	→
		3000	120	120	特等	60,000	( 2,592)	→
	柱	3000	120	120	(東濃松)特等	65,000	( 2,808)	→
		6000	120	120	特等	120,000	(10,368)	→
W集 ウ成 ド材	柱	3000	105	105	国産5層	59,000	( 1,950)	→
		3000	120	120	国産5層	60,000	( 2,580)	→

※日刊木材新聞調べ(名古屋標準相場 全てKD材)

#### 外材市況 (6月期)

1㎡当り(価格単価:100円)

樹種	規格	価格	樹種	規格	価格
米松	SSタイプ	284	米栂	へム(アラスカ産)	281
	コースト(目荒)	302	米ひば	ポール	295

日刊木材新聞調べ 名古屋標準相場(径級は30cm上、米松コーストのみ大阪相場)

### NCルーター

木材用語一口メモ

NCは「数値制御(Numerical Control)」の略、ルーターは「くり抜き機」の意味。刃物やテーブルの動きを数値制御しながら、材料を削る加工機械。複雑で高精度な加工が可能です。

(参考)日刊木材新聞社 木材・建築用語辞典

